

2014年(平成26年)3月5日(水曜日)

## 日本経済新聞

# 特養・高齢者住宅を併設

## 栄光会 京都に総合型施設

社会福祉法人の栄光会(京都市)は京都市山科区に高齢者向けの総合福祉施設を来年1月に開業する。同じ建物に要介護者向けの特別養護老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)を併設する珍しい構造。介護職が常駐し、入居者の安心感を高める。サ高住は政府の後押しもあり普及するが、幅広いニーズに対応できる総合型の施設も今後増えそうだ。

施設名は「きよみず苑・京都東」。都市開発シンクタンクの都市ガバナンス研究所(京都市)が企画した。地上4階地下

1階建てで延べ床面積は約4390平方メートル。投資額は約10億円。着工済みで11月に完成予定。

1、2階は特別養護老人ホームで定員は29人。常駐する30人弱の介護職が入浴や食事など世話に当たる。介護を受けながら在宅で暮らす高齢者が短期間滞在したり、日帰りで入浴や体操などがで

きる機能も付ける。新施設は、階下の特養に介護職が常駐しており、夜間の緊急時に対応しやすいという利点がある。

3、4階はサ高住で定員は45人。一般にサ高住は比較的健康な人を対象とし、安否確認と生活相談がサービスの中心で介護機能は弱い。